

かわべ

議会だより



第16回ふれあいレガッタ（8月7日） ゴーの合図により、一斉にスタート！

平成17年8月18日



◆ 6月定例会	2 ~ 3
◆ 16年度水道事業会計決算を認定	3
◆ 川辺町中央公民館図書室増床工事始まる	3
◆ 一般質問 5人の議員が登壇	4 ~ 10
◆ 編集後記	10

6月定例会

(6月8日～17日まで)

本定例会では、平成16年度水道事業会計決算の認定をはじめ、川辺町中央公民館図書室増床工事請負契約の締結、川辺町常勤の特別職職員の給与に関する条例の特例を定める条例の制定など28議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

追加案件として、下水道工事請負契約の締結3件について審議し、可決しました。

人事案件

▲農業委員の推薦

任期満了に伴う、議会の推薦する委員として

牧田富朗氏を選出しました。

▲固定資産評価審査委員会委員の選任

松野善武氏

石神87番地1

再任に同意しました。

条例案件

▲常勤の特別職職員の給与に関する条例の特例を定める条例の制定

町長、助役及び収入役の給料月額を、本年7月から来年3月分まで、10%減額するものです。

▲職員定数条例の一部改正

職員の定数を、現行の130人から10%削減し117人とするものです。

▲教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

1ヶ月当たりの公的年金受給相当額(6万6,200円)を減じた額を、給料月額とするものです。

▲教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の特例を定める条例の制定

教育長の給料月額を常勤の特別職と同様に、9ヶ月間10%減額するものです。

給与月額の変更(7月から本年度中)

町長	700,000円→630,000円
助役	592,000円→532,800円
収入役	541,000円→486,900円
教育長	534,000円→414,400円

▲職員の給与に関する条例の一部改正

有事の際に本町に派遣された他団体の職員等に対して支給すべき「武力攻撃災害等派遣手当」を規定するものです。

▲消防団員等公務災害補償条例の一部改正

障害等級の内容を改めるほか、用語の整理等をするものです。

▲非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正

勤続10年から20年の分団長、副分団長、部長及び班長の退職報奨金支給額をそれぞれ2千円ずつ増額するものです。

▲専決処分の承認

・ 税条例の一部改正
主な改正は、個人の住民税において、前年の合計所得金額が125万円以下で年齢が65歳以上の方に適用されている非課税措置の廃止と、固定資産税においては、災害に伴う避難指示等が翌年以降に及んだ場合、災害によって家が存しなくなつ

た土地にあつても住宅用地の軽減特例を適用するものです。

予算案件

▲17年度一般会計補正予算(第1号)

173万7千円を増額し、総額が35億6978万9千円となりました。

主な内容は

特別職等の給料の減額及び管理職手当の減額による人件費の削減分611万円を「まちづくり基金」に、老人保健特別会計の16年度決算額確定による戻し入れ額143万7千円を「財政調整基金」に、それぞれ積み立てました。

また、給食センターの厨房施設修繕費等を計上しました。

▲17年度老人保健特別会計補正予算(第1号)

844万3千円を増額し、総額が10億5544万3千円となりました。

主な内容は

老人保健特別会計の過年度精算により、一般会計への繰入金等を増額しました。

▲17年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)

18万4千円を減額し、総額が10億6881万6千円となりました。

主な内容は

管理職手当の削減分を、減額しました。

▲17年度下水道事業特別会計の繰入金の変更

管理職手当削減相当額を、繰入金から減ずるものです。

▲17年度水道事業会計補正予算(第1号)

下水道整備事業に係る水道管布設替工事等の負担金収入の減に伴い、配水施設費も同額の1億4985万2千円減額するものです。

▲専決処分の承認

・16年度一般会計補正予算(専決第2号)
花フェスタ開催に伴うイベント経費に、県補助金10万円の交付決定が

あったためです。

決算認定案件

▲16年度水道事業会計決算の認定

16年度の水道事業会計が3月31日で終了し、地方公営企業法の規定により決算の報告を受け、全会一致で認定しました。

室増床工事請負契約の締結

工期
18年2月28日

契約金額
1億8270万円

請負業者
岐阜市金園町

株式会社鴻池組

岐阜営業所

川辺町上川辺

工期
18年3月20日

契約金額
9922万5000円

請負業者
坂祝町酒倉

株式会社栗山組

森前地内面整備工事

契約案件

▲川辺町中央公民館図書

請負業者

契約金額
6389万2500円

工期
18年3月20日

請負業者
可児市今渡

株式会社土屋組

中濃営業所

報告案件

▲土地開発公社の経営状況

地方自治法の規定により、16年度事業報告及び決算並びに17年度予算について、報告がありました。

▲専決処分の報告

・損害賠償額の決定
・17年度一般会計補正予算(専決第1号)

公園管理草刈り作業中の飛び石による通行車両への損害賠償の額、及び関連補正予算の報告です。

その他の案件

▲町道の路線認定について

県道可児・金山線(比久見西屋敷から下吉田澤尻地内まで)を町道として認定しました。なお、

県道バイパス工事が完了し供用開始となるまでは、県道との併用区間となります。

左記に掲げる6件の案件は、いずれも市町村合併により、その組合を組織する市町村及び組合議会の議員定数の変更が必要となったことにより改正するものです。

▲岐阜県市町村会館組合

を組織する市町村数の増減について

▲可茂広域行政事務組合

規約の一部改正

▲可茂衛生施設利用組合

規約の一部改正

▲可茂公設地方卸売市場

組合規約の一部改正

▲可茂消防事務組合規約

の一部改正

▲中濃地域農業共済事務

組合規約の一部改正

16年度水道事業概要

年度末、給水戸数
…3,236戸(1.16%増)

年間受水量(県より受け入れた水量)
…109万4,938m³
(5.46%増)

*水量の増は夏の猛暑による。

供給単価 1 m³当たり
…181.93円

給水原価 1 m³当たり
…226.77円

資本的収支(建設的予算の収支)の差引不足額6,166万4,524円は、内部留保資金等により補填しました。

一 般 質 問

そこが聞きたい! 知りたい!

定例会最終日の6月17日、5名の議員が質問に立ち、町政をただしました。質問と答弁の内容は、次のとおりです。



大脇久男 議員

美濃加茂市と加茂郡の合併を

【大脇議員】

1. 美濃加茂市と加茂郡の合併を切に願っている1人であり、町民にも少なからずメリットが多いと思います。全ての意見を真摯に受け止め、合併に向け最善の努力をし、自分の考えを表に出し、リーダーシップを取って進めていく考えはないか。

2. 行財政改革に関連し提案された給料・手当の

カット、職員の削減等は、たしかに将来のことを考えるとやむを得ないかもしれないが、もっと他に良い方法があるように思う。例えば、職員資質の向上に努め、仕事内容を見直し、職員の適材適所を考えた配置をして充実性を持たせ、仕事の内容量を伸ばす工夫をするなど、あらゆる努力をしてからでも遅くはないと思うがどうか。

3. 庁舎内全体の志気が上がるような異動を望むが、4月の人事異動はどのような目的と期待を持って行われたのか。今後の人事異動に関する方向性を聞きたい。

また、同じ課長職でありながら、等級に差があり、「重要職にある者は1等級上の8等級であ

る」という以前の回答に、現在も変わりはないか。

あらゆる選択肢を否定せず検討する

【佐藤町長】

1. 現時点で、美濃加茂市が町村との合併協議のテーブルに着くことは、非常に困難かと思われ

ます。あらためて市が協議や検討に加わることでできるとすれば、市長選挙あるいは、1市7ヶ町村での法定合併協議会再設置の直接請求のための署名収集活動の結果次第だと考えており、現時点では、「加茂郡合併等研究会」しか検討の場はありません。

しかしながら、あらゆる選択肢を否定せず検討することには変わりはありません。

2. 執行部としての最終的な行財政改革案を、第四次行財政改革推進協議会にお諮りしたところです。

本町は、毎年度貯金

を崩さなければ財政運営ができない構造になっており、町民の皆様にもこうした状況をご理解いただき、時にはサービスマン水準の低下、負担の増加など協力を求めていかなければなりません。その時こそ、私を始め幹部職員も身をもってこの改革に取り組み姿勢として、自ら痛みを甘受する必要がある、給与の減額等はそうした意味において提案したものです。

人事管理、契約手続き等の見直しなどは、日々の業務の中で可能な限り改善を図っていきます。改革には聖域は無いということ、できることであれば謙虚に耳を傾け真摯に取り組み考えです。

3. 収入役を欠員とし、また退職者補充のための新規採用を見送り職員数が減少した中、既存組織の活性化を念頭に重点的な人員配置を実施しました。

年功的要素の強い人事制度から、能力・実績主義を重視した新たな人事制度へとシフトすべき時に来ていると考えます。「組織活力を高め、最大の効果を生み出す人事」また、「適性にあった配置により一人ひとりの成長を図る人事」となるよう期待しています。

8級職に位置付けています事務参事兼課長と技術参事兼課長は、2課以上にわたる重要事項について掌理担当することとなり、また住民課長にあつては、多くの出先機関を所掌しており重要な課の長であると位置付けています。なお、県からの職員である教育委員会事務局指導主事については、給料の調整から例外的に8等級としています。

一 般 質 問

指定管理者制度を導入しては

【大脇議員】

左岸遊歩道は17年度完成を目標で予算化されており、既に一部利用されていますが、費用対効果等調査したことがあるか。また、調査する考えはあるのか。公園の維持管理にも、指定管理者制度を取り入れてはどうか。また、完成後の利用人口等の調査予定はあるのか。

条件に合うところがあれば検討する

【岩田基盤整備課長】

今現在のところ調査はしていません。公園、特に遊歩道は、もともとと散策とかジョギング等町民憩いの場としての利用を考えて計画していますので、直接効果を計るための指針は存在しません。一つの

公園として考えた場合、町民各層が利用された結果の満足度、憩いの場としての貢献度等によつて計るべきではないかと考えています。今後、費用対効果の調査を実施するかどうかは、その方法も含め検討します。公園利用料における収入はパターゴルフの収入のみであり、果たして、この様な現状にある公園の指定管理者として手を挙げる民間法人等があるのかとい

う問題があります。仮にあったとして、現在実施している直営より大幅な費用の節約になるとは考えにくいと思います。参入できるのは、NPO法人、法人格を持たない団体も含まれていますので、条件に見合ったところが見つければ、検討することもやぶさかではありません。完成後の利用人口調査の方法・時期等について、具体的な計画はありません。



ジョギング、散歩に利用されている左岸遊歩道

不法投棄に対する対応は

【大脇議員】

神坂地内、下吉田地内及び、飛騨川沿いの草むらで不法投棄の現状を見ました。不法投棄に対し、年間を通してどのような巡回・処理方法を計画し、また費用はどれくらいか。

環境衛生嘱託員2人がパトロールを

【高井産業環境課長】

環境衛生嘱託員2人が月に10日間ほど各ゴミ集積所の監視を行いますが、不法投棄の多い場所を重点的にパトロールを行っており、年間予算は189万6千円ほどです。保健環境推進員(127人)の皆様には不法投棄の監視員を兼ねていただき、また川辺郵便局とは不法投棄に関する情報提供の業務委託契約を結び対応しています。

行財政改革提案要旨と決意のほどは



安田昌次 議員

【安田議員】

いかに町民に夢のある将来像を示すか、そのための第一段階である行財政改革に町長の手腕が問われるところであり、その提案要旨と決意のほどはどうか。

また、町長は郡内合併を模索していくスタンスであると思います。行き着くところは「加茂郡は一つ」が目標であるならば、「急がば回れ」と言うこともあり、柔軟な発想を持ち合わせていたいただき、町民が望む方向を真に見極めて合併協議に臨んでいただきたいと考えは。

一 般 質 問

財政状況など町民の十分な理解が不可欠

【佐藤町長】

行財政改革の推進には、町民のみならず、ご理解とご協力はもちろんのこと、財政状況などについても十分に理解していただくことが不可欠です。そのため、積極的な情報提供を進め、町民が納得できる形で合意形成したいと考えています。改革実現のためには、私、町長のリーダーシップと管理職の姿勢が重要であり、全職員がその必要性を十分認識し、問題意識を共有してこそ実を結ぶものと考えています。

また、市町村合併問題については、すべての選択肢を否定せずに検討を進めることに変わりはありません。枠組みについて様々な意見があることに間違いはなく、納得するまで徹底的に議論をする必

要もあります。今後、町議会を中心として、広く町民の皆様にお諮りしつつ検討を進めていく考えです。

教育に対する基本姿勢は

基本姿勢は

【安田議員】

過去に於いて、「川辺町の子供達の学力低下問題」、「中学生に救急救命講習ができないか」、「児童生徒の安全対策について」提言してきたが、現在はどうか。教育長は、永年に亘つての教育者経験から独自の構想があると思いますが、これからの本町の教育行政をどのようにとらえていくのか。

豊かな自然を大切にふるさとを愛する心

【栗山教育長】

県で実施した正答率の平均ポイントを下回っ

ている項目については、学校と早急に対策を検討します。また、今年度から中学校の2年生を対象に、救急救命講習を水泳指導を始める前に実施します。児童生徒の安全対策については、それぞれの団体がそれぞれに一生懸命取り組みでおられ、町の「生活安全推進協議会」が中心となつて連携を図り、万全を期していきたい。

「川辺町の教育夢プラン」を基に取り組んで行くことはもちろんですが、この豊かな自然を大切にし、ふるさとを愛する心をもつた子供を育てる。学校時代から国際交流などを通して、視野の広い国際的な人づくりをする。

子供達のしつけや基本的な生活習慣について、家庭に任せるだけではなく、若い親さんたちの指導にも力を入れたい。町内の学校を、可茂

地区をリードできるような中心的な学校にする。

町民の芸術・文化活動の推進にも、力を入れていきたい。

ケーブルテレビ事業を、どうする

【安田議員】

19年度頃に整備することとされていたケーブルテレビ（CATV）事業は、合併が破たんしたことで空中分解しました。この事業は、このまま頓挫するのか、あらためて建設計画を立ち上げるのか。

また、導入にはインフラ提供方式にしても膨大な資金を必要とします。ケーブルテレビ基金を創り積立を行いつつ、その時に備えるべきと考えるがどうか。

事業主体となる企業の存在が不可欠

【佐藤町長】

町自らが事業主体となることは、巨額の事業費に加えて、なにより運用・管理の問題から、あり得ない選択です。事業化にあたっては、まず事業主体となる企業の存在が不可欠です。実施希望企業が現れた場合は、町として適切な額の負担や補助、あるいは事業への参画を検討するなどの対応を考えたい。

全く未定な事業に対して基金を設置することは、財政難の今大変厳しいものがあり、しばらく様子を見たい。



一般質問



牧田富朗 議員

行革には、職員の企画力の発揮を

【牧田議員】

行財政改革については、役場の機構改革や人件費の削減も柱の一つですが、職員皆さんの企画力の発揮だと思えますがどうか。

市町村合併については、まず加茂郡合併を、その後、美濃加茂市と対等合併をすることです。少子高齢社会では、10万人以上の都市が必須条件だと考えますがどうか。

職員資質の向上と新たな人事制度へ

【佐藤町長】

現下のような危機的

な状況にあるときほど、職員一人ひとりがその企画力を発揮し、新しい発想、行政手法なども取り入れ、知恵を絞り、難局を乗り越えていかなければなりません。そのためには、あらゆる機会を通じて、自己研鑽、研修の機会を与え職員資質の向上を図るとともに、新たな人事制度へとシフトすべき時に来ていると考えています。

合併問題に対する私のビジョンという点から、川辺町にとつて市町村合併は避けて通れないと考えていること。また、合併はそれ自体が目的ではなく、より高いサービスを提供し続ける自治体になるための手段にすぎないと言ふこととす。

学校の耐震化は

【牧田議員】

学校は子ども達の学びの場であり、災害時に

は地域住民の避難場所にもなります。町内各学校の校舎、体育館の耐震化は、どのような計画で優先順位はどうか。

また、地震対策として、木造住宅耐震診断助成事業がスタートしたが現状は。

来年度学校施設の耐震工法と事業費を調査

【佐伯教育課長】

中学校の校舎と体育館及び、西小学校の体育館を除く学校施設について、10～11年度にかけて耐震診断を行い、

すべての施設について、診断結果に基づいた何らかの補強や対策が必要と認識しています。効率的な優先順位を定め、かつ、早急に事業を進めるための基本調査を18年度に行い、財政当局と協議し、できる限り早く対応していきたい。

【岩田基盤整備課長】

木造住宅耐震診断補助事業は、昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の耐震診断を実施する町民に対して、その経費の一部を補助するもので、15年度は3件、16年度は4件実施さ



築38年を経過した川辺西小学校校舎

学校の講師の異動を3年以上に

【牧田議員】

学校の講師は、だいたい1校1年で異動となっておりますが、落ちついて指導するため、せめて3年以上に。また講師として5年以上の優秀者は、教諭として本採用にすべきと思うがどうか。

**講師の期間は、
与えられた任務の期間**

【栗山教育長】

講師にもいろいろな種類があり、講師の辞令は、自分に与えられた任務が終わるまでで、育児休業補充の講師は、その講師が復帰するまで、初任者指導の講師は、1年でその初任者研修が終わりますから講師も1年で終わります。正式な教員採用試験に合格しなかった人が多く講師になっており、16年度に川辺中学校に派遣された4名全員と、東小学校に派遣された3名の内2名が試験に合格し、新規採用され、県教育委員会の辞令に基づいて新天地へ派遣されています。講師として努めた勤務校の講師の成績も採用試験に考慮されるよう、県の教育委員会に働きかけていきたい。



日下部明伸 議員

Q 財政の硬直化が心配

【日下部議員】

12年度末までは、一般会計における借金(起債)と預金(基金)のバランスは、少し余裕のあるプラスの町財政でした。郡内他町村と比較して豪華な箱物、施設等はありませんでした。先代、先々代の町長・助役の堅実財政の結果、大きな借金もなく、後世に負担を強い

ることのない町政が施行されてきたわけです。それが良かったのか、悪かったのかの問題を問うものではありません。本年度末(見込み)の一般会計における借金は、12年度末の2倍を超える39億5千万円と試算されています。一般会計・特別会計合わせた借金が、100億円を超えることは時間の問題であり、税収10億円程の町でこの借金を返すには、綿密な計算を立てていかなければなりません。どんな事業も出来なくなる財政の硬直化を心配するものです。今後の各年度の起債償還総額を含む財政シミュレーションを示していただきたい。

**行政改革の積極的な
取り組みが必要**

【古川経営管理課長】

16年度末の起債残高は、一般会計で36億7千万円、特別会計を合わせると92億5千600万円とあって、12年度末残高63億3千800万円から大きく伸びています。これは13年度以降、第三保育所、川辺西タウンなどの大規模事業の実施と特別会計では下水道事業が

推進された結果です。

平常時の事業のみで大規模事業などの政策的事業は加味せず、景気も同一水準の低い伸びで、また地方財政制度は16年度における制度が続くものとした条件で23年度までの6年間を見込むと、毎年度1億円から3億円程度の収支不足になるものと観ています。このことは、歳入の減にあわせて、歳出では借金の返済が17年度を底に増加に転じ、人件費などを含む義務的経費の増加が大きな要因となり、財政の硬直化が一層進んでいるものと考えます。起債残高は、18年度100億8千万円、23年度末102億9千万円と膨大な借金を背負うこととなります。財政環境は極めて厳しい状況であり、行政改革に積極的に取り組んでいく必要があるものと考えています。

**最低限、飛び地の
解消を**

【日下部議員】

西柵井地内に下川辺(番地が所在(飛び地)し)、この地区の住民は、住所は下川辺、住んでいるのは西柵井行政区内、区の付き合いは中川辺という方もあります。この他にも字、地名は西柵井でも行政区域は中川辺という住宅が30軒以上もあり、町内各所では似たような事例が存在していると思います。

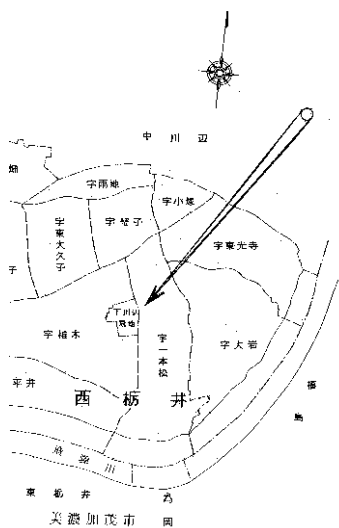
住民の皆さんの理解はもちろんのこと、非常に難行である事は否定できませんが、来るべき23年度末102億9千万円と膨大な借金を背負うこととなります。財政環境は極めて厳しい状況であり、行政改革に積極的に取り組んでいく必要があるものと考えています。

も、最低限飛び地見直しの作業に取りかかるべきと思うのが所見は。

**地域の意向を踏まえ
慎重に進めたい**

【古川経営管理課長】

字には、歴史的、文化的意義を有するものも少なくありません。字の名称を変更することにより各種の諸届けが必要となるなど、居住されている住民の方に大きな影響を与えることとなります。飛び地に係る字の名称変更には、まず該当地域に居住されている住民の方々のご理解の上に成り立った総意が必要で



一 般 質 問

にいて聞こえなかったという声が聞かれます。

聞こえにくい地域の調査をする必要があると思うがどうか。故障のための休止は、一時であろうと避けなければいけません。故障した場合の対応は大丈夫か。また、いずれかは機器の入れ替えも必要となり、その価格も高額であると考えられ、今後の計画も必要と思うが見通しは。

あり、それなくして変更することは非常に難しいと考えています。今後は、地域の皆様の意向を踏まえ、慎重に事務を進めたいと考えています。

15年を経過した緊急同報無線は大丈夫か

【日下部議員】

運用開始後15年を迎える緊急放送設備(緊急同報無線)がありますが、一部地域では日中屋外

整備基金の設置を念頭に更新計画を作成

【古川経営管理課長】

消防団と連携し、聞き取りにくいエリアの情報収集等を行い、現状を把握したいと考えています。

当施設は、年2回の定期点検の実施、故障があった場合は速やかに対応するよう委託契約を結んでいます。老朽化により非常・緊急時の対応に支障を来す恐れ

があるため、早急に更新をする必要があると思っています。しかし、更新には多額の費用を要するため、整備基金の設置を念頭におきながら、実施計画を作成し、できるだけ早く実施したいと考えています。

山楠公園改良工事の問題点を問う

【日下部議員】

山楠公園再整備事業には、設計業務で約2千万、工事費は15年、16年の2年間で約2億円をかけ現状に至って

おり、本年度600万円で残土処理が予定されています。公園入口に立ったとき、むなしさを感じました。どこに私たちの税金2億円が掛かっているのか。議会としても了解をしていただくことから、共に責任があることは承知ですが、問題点を伺います。

- ①芝を吹き付けたのに、赤土の山肌が多いのは、
- ②一部芝が濃んでいるところがあるのは、
- ③駐車場8台分全部が障害者用になったのは、
- ④せせらぎ水路に溜まっている泥はどうする。



再整備された山楠公園

⑤機械式水鉄砲は魅力に欠けるが、いくらか。
⑥17、19年度の工事費は、今後どうなる。
⑦雨水排水は大丈夫か。

開園まで、すべてを整える

【岩田基盤整備課長】

- ①芝工事が冬季となったためです。補償制度により、再度吹き付け工事を実施します。
- ②工事施工上の誤差の範囲内です。今後の維持管理で徐々に解消させていきます。
- ③健常者用の駐車場はグラウンド脇にも設置の計画です。すべてが完成し、利用状況を調査して判断します。
- ④今後水の流れにより自然にきれいになっていくと考えます。
- ⑤すべての子供誰もが水に親しめる物を大前提に検討しました。約175万円です。
- ⑥当初計画では、3カ年

で1億1千350万円の工事費です。今後、財政の動向を見極め考えていきます。
⑦10年確率、時間雨量90ミリの豪雨を条件で断面計算しており、心配はないと考えます。

美濃加茂市との合併推進を望む

【日下部議員】

町長は、最近では合併の時期について、2年先をめどに合併を推進したいと述べられています。現在の財政状況から考えれば、単独にて町を運営することには、至難の業かと存じます。小手先の行財政改革でこの財政危機が乗り切れるはずはありません。一部の会議では、加茂郡7町村、加茂郡北部5町村の組み合わせによる合併を進めたいというようにも伺っていますが、夢でもその様な考えは持た

れることのないよう進言したい。川辺町民の利益のため捨て石となられ、加茂郡の枠組み、しがらみからの脱皮を決断され、美濃加茂市との合併の推進をされんことを望みます。しからば2年の歳月の内には合併が実現するものと確信するものです。7か町村足並みをそろえて美濃加茂市との合併を進めようとするならば、どれだけの間がかかるかはまったく計りしれまん。所見を問う。

あらゆる選択肢を 否定せず検討する

【佐藤町長】

合併推進の見地からも、合併するまで何とかなればよいという考えでは、合併そのものが進まないと考えています。各まちそれぞれが効率的で自立的な行財政運営を構築するべ

く、各まちでできる最大限度の行財政改革を進めることが、市町村間における信頼関係を醸成するためにも必要であり、いわば市町村合併に向けた最低限度のハードルであろうと考えています。そういう意味でも行財政改革を強力に進める考えです。合併の組み合わせについては、現時点において、あらゆる選択肢を否定せず、議会の皆様方にお諮りしつつ検討を進めていきたい。



大谷公園駐車場(7月14日撮影)

駐車場内をわき水が 危険防止対策は



佐伯陽子 議員

【佐伯議員】

大谷公園内の駐車場内を、年中わき水が流れています。駐車場の一段高いところにはため池があり、また隣接道路は通学路となっています。

えん堤の 危険度調査をしたい

【岩田基盤整備課長】

池に貯まった水が、えん堤にある岩盤との間からしみ込んでいるものと推察しています。当面は、余水吐きとか底樋から水を逃がすように対処したいと考えています。

えん堤については、今まで崩壊したことは聞いていませんが、安全性を高めるため危険度の調査をしたいと考えています。

事前に説明会を開き 希望を入れた工事を

【佐伯議員】

山崩れとそれに引き続いた復旧工事により、谷水を生活用水に利用している周辺住民は何ヶ月も水が濁り難儀した。工事が八分どおり終わつたところに説明会があり

不満の声が出ました。事前に説明会を開き、住民の希望も入れて工事をするのが最善のやり方だと思いがどうか。

緊急に復旧しなければ ならない工事であった

【岩田基盤整備課長】

この治山事業は、台風によって山腹が崩壊し、地元及び地権者からの要望もあり、県が施工した工事です。町としては、地元の立場に立ち、県、請負業者との打合せをしてまいりました。当初、工事中は水が濁ることは

承知しており工事に影響のない洞より取水していましたが降雨量が少なく、地元の説明会開催に至りました。絶対水量が補給できず、ご迷惑をおかけしましたが、住民の生命を守るため緊急やむを得ない工事であったことをご理解いただきたいと思います。

編集後記

佐藤町長二期目の初議会、行財政改革の推進、夢膨らむ元気なまち、キラリ輝く川辺町の実現、二年以内の合併成就のために全力で取り組む決意表明がありました。

6月議会は、行財政改革、市町村合併問題に質問が集中し、時間的余裕は少なく、議会、執行部が両輪となり議論を重ね、町民に理解が得られる結論を早急に出さなければならぬと感じました。

T・S